

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成30年3月29日 (2018.3.29)

【公開番号】特開2016-166749(P2016-166749A)

【公開日】平成28年9月15日 (2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-055

【出願番号】特願2015-45574(P2015-45574)

【国際特許分類】

G 0 1 C 19/5614 (2012.01)

H 0 1 L 41/09 (2006.01)

H 0 1 L 41/113 (2006.01)

H 0 1 L 41/04 (2006.01)

【F I】

G 0 1 C 19/56 1 1 4

H 0 1 L 41/09

H 0 1 L 41/113

H 0 1 L 41/04

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月14日 (2018.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印加された物理量に応じて物理量信号を出力する物理量検出素子と、
前記物理量信号を処理する物理量検出回路と、を備え、
前記物理量検出回路が、
第 1 増幅回路と、
前記第 1 増幅回路からの信号が供給される同期検波回路と、
前記同期検波回路からの信号が供給される第 2 増幅回路と、を備え、
前記第 2 増幅回路のダイナミックレンジが、前記第 1 増幅回路のダイナミックレンジより大きいことを特徴とする物理量センサー。

【請求項 2】

印加された物理量に応じて物理量信号を出力する物理量検出素子と、
前記物理量信号を処理する物理量検出回路と、を備え、
前記物理量検出回路が、
第 1 増幅回路と、
前記第 1 増幅回路からの信号が供給される同期検波回路と、
前記同期検波回路からの信号が供給される第 2 増幅回路と、を備え、
前記第 1 増幅回路の飽和電圧 V_1 と、前記第 1 増幅回路の増幅率 A_1 と、の比 V_1 / A_1 と、
前記第 2 増幅回路の飽和電圧 V_2 と、前記第 2 増幅回路の増幅率 A_2 と、の比 V_2 / A_2 とが、
 $V_2 / A_2 > V_1 / A_1$

の関係を満たすことを特徴とする物理量センサー。

【請求項 3】

前記物理量が角速度であり、

前記第 1 増幅回路のダイナミックレンジが $300^\circ/\text{s}$ 以上であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の物理量センサー。

【請求項 4】

前記第 1 増幅回路の前記ダイナミックレンジが $3000^\circ/\text{s}$ 以上であることを特徴とする請求項 3 に記載の物理量センサー。

【請求項 5】

前記第 1 増幅回路が交流増幅回路であり、

前記第 2 増幅回路が直流増幅回路であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の物理量センサー。

【請求項 6】

前記同期検波回路からの信号が供給され、前記第 2 増幅回路へ信号を出力する第 1 ローパスフィルターと、

前記第 2 増幅回路からの信号が供給される第 2 ローパスフィルターと、をさらに備えることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の物理量センサー。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の物理量センサーを備えていることを特徴とする電子機器。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の物理量センサーを備えていることを特徴とする移動体。